

令和5年度 第10回上郷地域会議 会議録

- 日 時 令和6年1月16日（火） 午後7時から8時30分まで
- 場 所 上郷交流館 2階 ふれあいホール
- 出席者 委 員 : 14名（欠席 2名）
太田市長
企画政策部 : 辻部長
企画課 : 丹羽副課長
都市計画課 : 西岡担当長
地域振興部 : 中川室長
上郷交流館 : 太田交流館長
事務局（上郷支所）: 近藤支所長、下川副支所長、小船担当長、伊藤主査

■次 第

「豊田市民の誓い」唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 市長あいさつ
- 3 答申
 - (1) 答申書の提出
 - (2) 答申内容の説明
 - (3) 意見交換
 - (4) 集合写真撮影
- 4 協議事項
 - (1) 令和5年度第9回上郷地域会議の会議録について
 - (2) 今後の地域会議の開催について
 - (3) 地域会議ふりかえりシートについて
 - (4) 上郷地域会議だより No.49 について
- 5 報告事項
 - (1) 上郷地域バスについて
- 6 事務連絡
 - (1) 費用弁償について
 - (2) 次回の地域会議日程について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 市長あいさつ

熱心に御審議いただきましてありがとうございます。冒頭、能登半島地震の話をしていただきます。1月1日午後4時過ぎに地震が発生したが、その日の夜に19名の豊田市の消防職員が輪島市に向けて出発しました。2日には、給水活動を援助するための水道局の職員4名が同じく輪島市に向けて出発しま

した。4日には、交代要員として消防職員21名が出発して、先発した19名は帰ってくるということを現在繰り返しています。5日には、支援物資を加賀市と輪島市にお送りしました。今後は、倒壊家屋の状況を調査する職員や保健師、ゴミ収集のパッカー車、区画整理や道路整備等ハード整備関連の職員の派遣要請が来れば対応することになるかと思えます。

また、昨年6月2～3日にかけての豪雨について、豊田市は豪雨等の情報は名古屋地方気象台・ウェザーニューズ・気象防災アドバイザーの早川氏の3者から集めます。その上で、豊田市としての対応を総合的に判断します。2日の豪雨は、平成12年の東海豪雨を上回る状況が想定されると3者ともが予報しました。ここで重要なのが、上流の矢作ダムの調整機能がどこまで果たせるかどうかです。今回の豪雨も、東海豪雨の時と同じように、ダムの調整機能が果たせず、水をそのまま流し続ける可能性がありました。ただ、調整機能が果たせないと判断が下されても、都心部に水が到達するのは約2時間後となります。上郷地域は、さらにそこから何分後かに到達することになりますので、矢作川を原因とした水害は、時間的な余裕があります。そのため、その時間的な余裕を見て、しっかりとした避難行動を取ってほしいです。

よく「天災は忘れた頃にやってくる」と言いますが、近年は「天災は忘れないうちにやってくる」と思った方が正しく、豊田市としての危機管理体制を強固にしていく必要があります。地域ともしっかり連携を取りながら、自助、共助、公助の連携について様々な場で議論をさせていただきたいと思えます。

答申とは外れた話になってしまいましたが、今回の第9次総合計画は、様々な夢や希望を描いていきますが、何よりも安全・安心なまちを目指した計画になるかと思えますので、今後もその点も含めた御意見を賜りたいと思えます。今日はよろしくお願ひします

3 答申

(1) 答申書の提出 省略

(2) 答申内容の説明

・ 答申内容について、上郷地域会議から答申書に基づき説明した。

(3) 意見交換

【質問・意見】

- ・ (委員) 最近、安城市の安城厚生病院を訪れた際、「あんくるバス」というバスを目にした。あんくるバスは1乗車100円で、毎日地域をぐるぐる回っているが、この地域を走っているチョイソコにこにこバスは、毎日走っているわけではない。今後、自動車に乗れない高齢者が増えてくることを考えたら、あんくるバスを良い例として、チョイソコにこにこバスに発展させていただきたい。
- ・ (委員) 名古屋市では、65歳以上の名古屋市民が数千円支払うことで取得できる敬老パスというものがあると聞いた。名古屋市に住む友人は、自動車免許を返納したそうだが、敬老パスのおかげで生活に全く支障がないとのことだった。名古屋

屋市でこのような制度ができるのであれば、豊田市でできないはずがないと思っている。答申の個別意見で、チョイソコにこここバスの低料金化や無料化と記載しているが、少なくとも65歳以上は無料化にしていきたい。

- ・(委員) 令和元年に区長をやっていたが、水害時は家下川を越えないと上郷交流館に辿り着けないため、自治区民を守る責任として、令和元年の豪雨の際、越水していないか車で家下川の橋を何度も観に行っただ。そんな苦しい想いをした中、その年の8月に市が家下川に監視カメラ付けてくれた。わざわざ何回も見に行かなくても、自分の家で確認できて、今なら逃げられるという判断ができるようになり、本当に嬉しかった。また、水害時は水平避難が基本であるが、逃げ遅れた人が垂直避難できるよう畝部小学校に外階段を作って、屋上に逃げられるようにしてくれた。これも自治区民はみんな喜んでいて。今後、我々がすることは、市長がよく近所という言葉が使われるが、近所には病院や高層建築物がまだあるので、そういうところと助け合って、いざという時に共助、共生していくことが、これからの我々の課題、使命かと思っている。
- ・(委員) 都市構造について、都市のイメージが分からなかったのだから、豊田市としての都市とはどのようなイメージのことを言っていて、上郷地域は都市拠点として今後どのように発展していったら良いかアドバイスが欲しい。
- ・(市長) 様々な御意見をいただきありがとうございました。まず、都市構造について、この上郷地域は、どこが拠点かを考えたときに地域の皆さまがどう思われるかだと思います。現実的には、私は上郷支所が拠点だと思いますが、拠点というには機能がなく使い勝手が悪いということであれば変えれば良いと思います。拠点をどう考えるのかは、やはりそれぞれの地域で議論していただく必要があり、行政が拠点を指定しても地域が認識していなければ意味がないと思っています。

次に、答申書の「3 その他」にある「若い世代の方々が住みたい、市外に異動しても戻ってきたい」という部分について、この上郷地域の魅力を3つ挙げるとしたら何でしょうか。3つ挙げるのであれば、それを子供たちに伝えるべきだと思います。子どもたちに伝われば、子どもたちがその3つの魅力にこだわり、大人になってもおそらく上郷地域に戻ってくる、あるいは、他地域で暮らしていても上郷を忘れないと思います。つまり、この上郷地域に暮らしている地域の皆さまが、上郷地域といえば、というものを持っているかどうかは重要で、これは他の地域の人や行政が作れるものでは決してありません。

個別の事業等に関する意見の「② 年齢問わず一人一人が“必要とされている”という自覚が持てるまちになってほしい」という部分について、私は「一人一役社会」と言っていますが、誰もが地域や家庭の中で一役は持っていて、その一役において、誰かから期待される、感謝されるような社会を目指したいと思っています。例えば、わくわく事業を通して地域の人たちに喜ばれて感謝される、このような社会を意識して作っていきたく思います。

土地利用の意見について、御存じかと思いますが、制約があるため市街化の話も含めて厳しいだろうと思います。逆に、それがこの土地の魅力にはならないでしょうか。以前、九州で農業をやっている宇根豊さんという方の講演をお聞

きした時の話ですが、日本の田んぼの中には約5,700種類の生き物が生息していて、その5,700種類の中には人間も含まれているという話を聞き、その自然の捉え方が印象的でした。今もそれだけの種類が生息しているかは分かりませんが、ここで暮らす子どもたちに、一面に広がる農地に対して自然の豊かさを伝えられるなら、子どもたちは、まったく違った目でこの地域を見るだろうと私は思います。農振により土地利用が不自由だとマイナスで捉えるのか、別の捉え方ができるのかによって、この地域の見方も変わり、子どもたちへの伝え方も変わるのではないかと思います。

「⑤ 製造業におけるDX推進の必要性のある中小企業に対して、ヒト・モノ・カネの実質的な支援をすべきと考える」について、これは記載のとおりで、今も支援策や相談窓口を用意していますが、中小企業の現場の皆さまとのマッチングが難しいという印象を持ちながらやっています。

公共バスについては、様々な場で話題となりますが、先日は刈谷市では無料でバスが走っているという意見をいただきました。刈谷市や安城市と決定的に違うのは、市域の面積が違い、大きな市域の中で市民の皆さまが分散して暮らしているという点です。公共バスでは、すべての要望を満たすことは無理だと思っています。皆さんがドアツードアを望んでいるため、自分の行きたいところに行ってほしい、自分の家の近くに停まってほしいということ望みます。そうすれば至る所にバス停ができて、いつになったら目的地に到着するのかということになってしまいます。そうした中で、現在市内の一部の地域でカーシェアリングという取組を始めています。東日本大震災の際に車が流されて被災者の方々が困っていたところ、全国から車が提供されたことをきっかけに、一般社団法人日本カーシェアリング協会が設立されました。そこから貸し出された車を使って、限られた人数の中で、本当に乗せてほしい人と運転してくれる人がメンバーになり、乗った人が費用を出し合いながら利用実績に応じて清算するというカーシェアリングを市内の一部の地域で始めています。バスは、走った方がいいか、走らない方がいいかならば、走った方がいいとなります。では実際に走らせて乗るかということ、今は乗らないがいつか自分も乗ることになるから走らせてほしいとなります。しかし、バスの運行には税金を使用しています。そういう意味では、東京や名古屋市のような大都市には敵いませんし、刈谷市や安城市のような市域の小さい自治体にも敵いません。それを認めた上で、本当に困っている人や免許を返納する人が、実際に使える、かつ現実的な仕組みを考えていく必要があるかと思います。

家下川の件について、ありがとうございます。今日も上郷交流館に掲示してあるハザードマップを見て、改めてこの地域の皆さまの心配が手に取るように分かりました。最悪の状況を想定しつつ、日々の暮らしは楽観的に、というのが一番大切かと思います。令和6年1月17日に大規模な浸水が発生した際に高速道路区域を一時使用することを可能とする協定を中日本高速道路株式会社名古屋支社と結びます。高速道路に上がるには高さがあるかもしれませんが、備えは多いに越したことはありません。それから、先ほどハザードマップを見て思いましたが、上郷地域とトヨタ自動車上郷工場は、防災上の協定を結んで

みえるのでしょうか。もし結んでいないのであれば、支所も間に入るように。時間さえあれば避難できるという前提であれば、上郷工場は避難先として可能性があると思います。上郷交流館もふれあいホールは大丈夫だと思いますが、1階は浸水する可能性がありますので、遅れて避難する場合は少し警戒した方がいいかもしれません。早めの避難と、先ほどおっしゃっていただいた近所力を高めて、避難所の場所や要援助者の有無をあらかじめ地域の中で確認しておいていただけるとありがたいと思います。

上郷地域は、この3年半のコロナ禍において、地域社会の絆やつながりが薄れているというようには感じられませんか。この3年半の間、自治区の行事のほとんどが中止、あるいは縮小しています。コロナ禍以前は区の役員や組長だったらイベントの準備等が大変だったが、コロナのおかげでやらずに済んで良かったというような話も出かねない深刻な状態です。加えて、子ども会や高齢者クラブの活動も低調です。特に高齢者クラブについて、今は元気な高齢者が多く、仲間と遊んでおり必要性を感じないかもしれません。しかし、歳を取れば取るほど、仲間が減り、自分も遠出が面倒になってしまうかもしれません。その時の高齢者の受け皿が、高齢者クラブになります。地域の高齢者の最後の砦が高齢者クラブです。今はあまり必要性を感じずとも、将来の最後の砦として踏ん張って残して置いていただきたいです。この3年半で薄れてしまった地域社会の近所力が低下した中で大規模災害が発生した場合、極めて厳しいものになると思います。復旧復興が早い地域は、間違いなくその地域の絆や近所力が強いところで、近所力が薄れた地域であればあるほど、復旧復興は遅れると思います。初動体制を速やかに整えることもありますが、その後の復旧復興をいち早くするためには、是非近所力を一刻も早く取り戻しておくことが今この地域にも必要になっていると思います。もし、上郷地域もそのように感じられるのであれば、子どもたちの将来の安全・安心のため、この地域の皆さまが舵を取っていただきたいと思います。

総括として、極めて熱心に広範囲に渡って議論をしていただけたかなと思います。今回の諮問の内容で申し訳ないと思いつつも、抽象的な内容であったがために、議論が膨らんだのではないかと勝手に思っています。この地域のことをベースにした現場目線での議論は、必ずこの後にもつながっていきます。充実した議論をしていただけたことにまた改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

(4) 集合写真撮影 省略

4 協議事項

(1) 令和5年度第9回上郷地域会議の会議録について

・第9回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

(2) 今後の地域会議の開催について

・2月の地域会議は中止とし、3月の地域会議で今期の振返りを行うこととした。

(3) 地域会議ふりかえりシートについて

・1月31日までにふりかえりシートを提出することとなった。

(4) 上郷地域会議だより No.49 について

・裏面の答申時の写真部分以外は、案のとおりで問題ないことを確認した。
・裏面の答申時の写真部分のレイアウト等は事務局に委任することとした。

5 報告事項

(1) 上郷地域バスについて

上記について、事務局から報告がされた。

6 事務連絡

(1) 費用弁償について

(2) 次回の地域会議日程について

◆次回会議開催

◇令和5年度 第11回地域会議 ⇒ 中止

令和5年度 第12回地域会議

と き：令和6年3月19日（火） 午後7時から

ところ：上郷交流館 2階 ふれあいホール